

## 平成30年度 第2回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:平成 30 年 8 月 28 日(火)

14 時 00 分～15 時 30 分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 7 名

欠席委員: 3 名

事務局: 3 名

案件 1. モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第 1 四半期)

2. その他

(1)モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第 1 四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(平成 30 年度第 1 四半期)について説明 —  
モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「4月に実施された絵本作家のイベントの参加数の多さから、市民の求めているものが顕著に見えたように思います。コミプラでのお話し会でも音楽を交えると参加される方も一方的な受け留めでなく、一緒に作り上げていることを体感されることと思います。是非、他の読み聞かせの場でも参加型の絵本にふれあう時間となれば参加人数が増えるのではないのでしょうか」ということについて  
⇒小さいお子さん向けにはおはなし会の際に「次に何が出るかな?」といった問いかけや手遊びなども取り入れた活動を行っている。ただし、音楽を交えた活動となるとスタッフのスキルに依存することになるので常に行うことができない。その代わりに市民図書館で第4土曜日に行っている「おはなしかいぷらす」では、もくもく会様の協力で手話のおはなし会を開催し多彩な活動を行っている。

(事務局) ○「摂津市民図書館であった原画展、素晴らしく見入ってしまいました。が、残念なことに玄関入ってすぐのパネルにあった原画がお話しの途中のものでした。出来れば一番目に入るところから一枚目、二枚目と展示された方が効果的だったのでと思いました。」  
⇒展示場所の左手から右手に向かって順に原画を並べた結果、入口に入ってすぐの場所が話の途中になっていた。チェックが甘かったと認識している。次回からは来場者の視点について注意をしていきたい。

(事務局) ○「摂津市民図書館で読み聞かせをしている「おはなしの泉」さんのメンバーが減少し実施が難しくなりメンバーを募集しているという話

を聞きました。図書館の自主事業外で読み聞かせをされているグループさんの事、実施状況など教えて頂けますか？ また、事業外のグループへの支援はどのようなことをされていますか？（広報や呼び掛け、スタッフの関わり方など）」

⇒現在図書館では、おはなしの泉さん、おはなし館さん、おはなしポケットさんの3団体におはなし会の活動をしていただいている。活動日は毎週土曜日の15時から30分程度。おはなしの泉さんは一時メンバーの減により活動をやめられるという話もあったがその後募集活動をして以前よりもメンバー数が増えたので活動は継続していただけることになった。

図書館の自主事業に関わっていないグループの活動については図書館では把握していない。しかし、学校との連携でおはなしイベントを行う機会も今後考えられることから、図書館でおはなしサークルの活動について把握する必要があると思っている。

(委員) ボランティアのメンバーも高齢化してきているので、次の世代の方に入っていたきたいのだが、きっかけがなかなかできない。

(事務局) 図書館の側でもおはなしボランティア育成の取り組みなどを行っていただきたい。

(事務局) ○「いつも楽しい企画が工夫されていてスタッフの熱意が伝わります。ひとつ改善してもよい点として、市民図書館の入り口部分少し暗いように思います。入口部分の照明、床のマットなど明るくする工夫を希望します。」

⇒元々の設計が間接照明になっているのでその電灯を下に出すことが難しい。

(委員) 玄関が暗いので、たまに開館しているのかどうかわからないことがある。

(委員) 配線を引いてきて、スポットライトを設置することはできないだろうか。そのスポットライトで開館を知らせるポスターを照らして開館していることをアピールできないか。

(事務局) 集客の点からも、改善案を今後も考えたい。

(事務局) ○「図書館の玄関付近に自転車を置かないように図書館の方がいろいろ工夫してくれましたが、時々自転車が置いてあるのを見かけました。後にポールを立ててから、それがなくなりとても通りやすくなりました。有難うございます。」

⇒最近では自転車置き場に置くことが徹底されている。夏休みなどで通路に自転車が置かれて通行の不便が出ているときにはスタッフが自転車置き場まで移動させることもある。

(事務局) ○「4月10日の出張おはなし会の報告書で「偶然部屋の前を通りかか

って」ということで参加された方が数名おられたとのこと。とてもいい企画なので周知の方法ももっと考えてもよいのではないか。」

⇒広報せつつや市のホームページへの掲載、図書館広報の「ことのは」への掲載を行っているが、今後は公民館や学校にもチラシの設置やポスターの掲示で協力をお願いすることを考えている。

(委員) 出張おはなし会をコミュニティプラザで行っているのであれば、立地的にも子育て支援センターにチラシや年間のカレンダーを置いては。

(委員) 小さいお子さんをお持ちの方は、健診には必ず行かれるので保健センターにもチラシを置けばよいと思う。

(委員) 四ヵ月健診時のブックスタートでは個々に案内をしているが、1歳半健診以降は関わるのがあまりないので案内もできない。

(委員) 摂津市駅前のタワーマンションの管理人に依頼すればチラシを置かせてもらえるのでそちらも利用してはどうか。

(事務局) 生涯学習課としても家庭教育学級での案内や、保健福祉課や子育て支援課など他課との連携の面でも支援していきたい。

(事務局) ○「5月業務報告の2枚目「安威川公民館講座関連本」とは何に関する本ですか。」

⇒安威川公民館で近代詩人に関する講座を行っていたので、講座を受けられた方がその足で図書館に立ち寄ってもらえることを狙い、取り上げられた詩人の本を集めて展示をした。

(事務局) ○「7月豪雨で安威川が危険水域に達し深夜に高齢者の避難勧告が出される状況であった。川沿いにある図書館として、建物の防水対策、貴重書の保管、フロア別図書のさらなる適正化に向けて見直しする必要があるだろうか。」

⇒貴重書のうち郷土資料など代替えの利かない資料は2階に保管されている。1階の書架の下段には1冊当たりの単価が高額な大型本が多数あるが、代替えがないものではなく、上段に置くと地震などで落下した場合のリスクもあるので今すぐ配置を見直す必要はないと考える。しかし、ハザードマップ等を見ると30年に一度の大雨で床上浸水の可能性が高い。長期的な視点で対策を考えていきたい。

(事務局) ○「6月の地震の際、図書館はどのように対処をしたのか。また被害状況と復旧の状況について報告をお願いしたい。」

⇒6月18日はちょうど休館日だったので、利用者の方に何もなかったことが一番だったと考えている。その日は清掃が入る予定だったので両方の館に1名ずつ職員が出勤していた。そしてそれぞれから状況の報告を受けた。

被害の状況だが、鳥飼図書センターで本の落下が8000冊から9000冊はあったと思う。さらに、雑誌用の書架が1つ倒れて収蔵して

いた雑誌が飛び出し、書架そのものも傷んでしまった。施設の方はエレベーターなどの稼働を確認しほとんど被害はなかったが、翌日は落下した本の片付けのために休館とした。

市民図書館は1階と2階の閉架書庫とを合わせて4000冊程度が落下した。施設の方は後日の検査で数ヵ所修繕の必要がある場所が見つかった。

あとは公民館が休館していたため、公民館等での本の受け渡しはしばらくできなかった。

なお、鳥飼図書センターの倒れた雑誌書架については天井と書架の間に突っ張りを入れ、さらに隣の書架と連結して転倒防止の対策をする予定である。

(事務局) ○「絵本作家えがしらみちこさんのお話会すばらしい取り組みだと思います。直接作家と交ることは貴重な体験になると思います。学校の子どもたちに知らせるため、学校で家庭配布の協力はできると思いますので、今後お考えください。」

⇒学校の方でイベントの告知を配っていただけると子ども達が図書館に通うきっかけになるので、大変ありがたく思う。今のところ鳥飼北小学校とは見学などで連携が取れているが鳥飼北小学校だけで留まっているので、まだ課題はあると思うが、他の小中学校へも積極的に働きかけはしていきたい。

(委員) 他の意見はないだろうか。

(委員) 市民図書館2階のラウンジの問題はその後どうなったのか。(5月、勉強をしていた学生に「図書館は勉強する場所ではない」と怒鳴った男性がいた件)

(事務局) 市としては「読書も勉強も全て学習である」という方針で行くことにした。

(事務局) 5月以降も勉強をしている学生がいたが、特にクレームは入っていない。図書館としてはラウンジ内の椅子の配置を変えるなどレイアウトを工夫して対応を続けている。

(委員) 市民図書館1階カウンター前のブラウジングコーナーの椅子配置が以前と違って窮屈になっている。また、館内のところどころに小さくていいので椅子を置いてもらいたい。足が悪いのでちょっと本に目を通したいときには必要だ。

(事務局) ブラウジングコーナーの椅子配置はその時々展示の内容に応じて変えることがある。今は円形の配置になっている。館内の椅子についてだが、車椅子が通れるように配慮する必要があるので増やすとなると、配置に苦慮するかもしれない。

(委員) 雑誌の書架の一番下の段だが、しゃがむのが困難なので見えにくい。高

齢者・障害者にやさしい工夫をしているかという点では評価ができないと思う。

(事務局) 雑誌の数が少ないうちは、一番下の枠を使わないという選択ができるが、現在の所蔵数では全ての枠を使わなければ配置ができない。しかし、なるべく利用の多い雑誌を目線の位置に配置するといった工夫はできると思う。

### (3)その他 平成 29 年度図書館年報について

(事務局) 昨年度と比較して、ウェブからの利用と公民館等での本の受け渡しが増えているが来館者という点では減少している。来館して目当ての本を探す過程で目に入った他の本も借りる「ついで借り」がなくなるので利用冊数が減少した。イベントなど図書館に足を運んでいただける魅力づくりが今後の課題になる。

(委 員) 市民図書館まで本を持っていくより公民館ですぐ返すことができるのは、やはり便利である。

(委 員) 公民館への巡回は1日1回だろうか。

(事務局) 午前中にコミュニティプラザと千里丘公民館、午後に味府・鳥飼東公民館を回っている。

(委 員) ネット検索では本のタイトルなどを確実に入力しないと検索できないのだろうか。検索結果に表紙の画像などを組み込むことはできないか、そうするとネット予約でも「ついで借り」のようなことができるようにならないか。

(事務局) カスタマイズするとなると、数百万円はかかるので難しいかと思う。

(委 員) 若いお母さん方が図書利用券をコミュニティプラザで作成できるようになり、その後ネットで予約利用する流れができています。効果は大きいと言える。

(事務局) 前回の協議会で案内した新しい図書貸出券のデザインができたので、確認をお願いしたい。(各委員、新デザインの確認)

(委 員) すでにカードを持っている人はどうなるのか

(事務局) 10月の蔵書点検明けから新規登録者には新カードの発行をする。以前のカードは今まで通り使えるのでそのまま使っていただきたい。紛失等で再発行する場合にはカードの登録番号が変わり再登録ということになるので住所等の確認が必要になる。